

## つくば市を住み続けられる市に

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

茨城県の魅力について調べ、発表資料にまとめて伝える。

SDGs⑪の目標『住み続けられるまちづくり』と茨城県の凄さを多くの人々に知ってもらう。



#### 解決を目指すに至った背景

茨城県の魅力度ランキングは下の方であり、栄えている地域もごく一部であるが、このままでは過疎化が進んでしまう可能性あると考えた

↓そこで……

茨城県の魅力を他県の人に知ってもらい、この問題の解決を目指し、SDGs⑪の目標、『住み続けられるまちづくりを』を達成しようと思った。

## 2 手段

### 取組内容

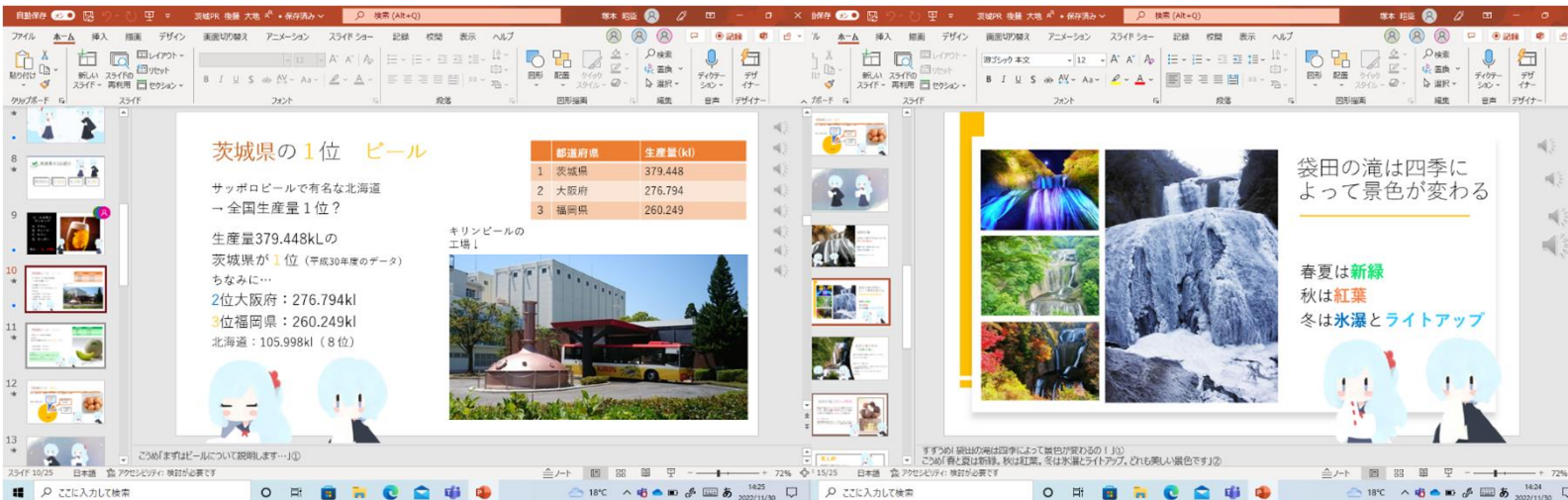
まず最初に・・・私たちは茨城県「地域」の魅力を簡単に、より多くの人に知ってもらうために様々な、あまり知られていない魅力をスライドにまとめた。「パワポ」



次に・・・自分たちのグループで作成したオリジナルキャラクターをボイスチェンジャーアプリを通して喋らせるなどといった工夫を凝らし見る人を飽きさせない工夫をした。



制作する過程でアドバイザー「副校長先生」のアドバイスを取り入れ、発表資料の改善、向上に努めた。



←制作したスライドの一部

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

**0円！！**

パソコンさえあれば、出来るものです。

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

副校長先生にプレゼンテーションを見てもらいアドバイスをもらいました。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

- ・プレゼンを作れる人、パワーポイントなどのツールを使える人ならできる！
- ・茨城について詳しく調べることができる人ならできる！

### その他

グループメンバーの特技を生かしプレゼンテーションを作成しました。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

多くの人にプレゼンテーションを見てもらい、茨城県の魅力を知ってもらうことが出来た。

しかし……

それはまだ校内の人限定になっているので  
広く知られていない

そのため↓

現在の課題の解決度は40%

#### 今後の展望

大阪の学校に私たちが作成した  
プレゼンテーションを流してもらい、  
もっと多くの人に茨城県の**魅力を広める。**

## つくば市の太陽光発電の増加を目指す

### 1 目的

#### 解決を目指す課題



#### ☆ 太陽光発電の増加を目指す

なぜ太陽光発電なのか

- ・身近にあり、親しみやすい
- ・他の再生可能エネルギーより環境破壊が少ない
- ・家にも設置できる
- ・太陽光発電を推奨している自治体が多い 等

#### 解決を目指すに至った背景

地球温暖化が進んでいて、地球が危機的状況ということを知り、二酸化炭素の排出量を削減すれば少しは地球に貢献できるのではないかと考える。



電気の使用による二酸化炭素の排出が最も多いから、再生可能エネルギーを増やせば減らせるかもしれない。



太陽光発電が良いかもしれないという考えに至った。

## 2 手段

### 取組内容

#### ○太陽光発電を知る

- ・インターネットで太陽光発電について調べた
- ・アドバイザーの方にインターネットで調べきれなかったことを聞いた



#### ○太陽光発電が設置できそうな場所を見つける

- ・太陽光発電の設置に向いている場所を調べたり逆に太陽光発電に不向きな場所を調べたりしていた
- ・つくば市の学校や施設で太陽光発電が設置している場所を調べた

#### ○自分の学校の太陽光発電について調べる

- ・自分たちの学校(春日学園義務教育学校)に設置されている太陽光パネルについて調査したが、モニターが壊れているのかあまり成果がなかった

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

金銭：最大の問題の一つ  
PPAモデルを使用すれば費用削減  
基本、4kWで100万程度が必要

他にも業者、そもそもの太陽光パネルなどの機械が必要となる

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

エコプラザタイショー様を訪問して、アドバイスや意見をいただくことができた

設置する際は、業者の方などの連携が必要

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

汎用性はあまりないと思うが、取り組みを拡大して興味を持ってもらう事は可能だと思う

### その他

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

学校や施設を中心に太陽光発電の増加を考えていたが、太陽光発電に詳しい方の話を聞いていくうちに住宅用太陽光発電よりも設置費用が高かったり、環境によって設置できないところも多かったりするため、その考え方は難しいと思った。

#### 今後の展望

学校や施設の太陽光発電の増加も考えつつ、一般家庭の方々に太陽光発電の特徴を発信して少しでも住宅用太陽光発電の増加に貢献できるようにしたい。



## いつでも勉強できる新たな試み

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

4 質の高い教育を  
みんなに



10 人や国の不平等を  
なくそう



「学校に通えていない子供たちに質の高い教育を届ける」という課題から  
4. 質の高い教育  
10. 人や国の不平等をなくそう  
の二つのゴールの達成をしようと思った

#### 解決を目指すに至った背景

ネットで調べると全国には学校に通えていない人がたくさんいることが分かった。その人たちにも学校で受けられるものと同じくらいの教育を届けられたらいいなと思ったから

## 2 手段

### 取組内容

私たちが行った取り組み

「百科事典を作成し、TSUKUBA学びの杜学園さんに通う子供たちに届ける」

#### ①方法

- ・TSUKUBA学びの杜学園代表の中谷さんに電話をし、そこに通う子供たちのために私たちにしてほしいことがあるか尋ねた。→百科事典が欲しいと言われた
- ・ネット、本、知識、体験からメンバーで手分けしてwordにまとめた

#### ②主体

- ・作成メンバー 高岡左京 小森理央 木村蒼汰 小高羽菜 ダン

#### ③対象者

- ・TSUKUBA学びの杜学園に通う子供たち

#### ④時間、期間

- ・作成したものを置く期間 ずっと
- ・作成時間 2022年9月ごろから今まで

#### ⑤場所

- ・活動場所 春日学園義務教育学校 8 - 3
- ・届ける場所 TSUKUBA学びの杜学園

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

作成にかかった時間 計6時間ほど  
作成に使ったもの 本、ネット、知識、経験等  
市から借りているPC、word  
作成者 高岡左京、小森理央、木村蒼汰、小高羽菜、ダン

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

TSUKUBA学びの杜学園代表中谷様  
アンケートに協力して下さった様々な学校の先生方

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

いろいろなジャンルのもので作成できるし、内容も人それぞれなので  
楽しく、簡単に作成できる  
仲間と協力してできる  
作成を通じていろいろな知識が増えるのでチャレンジしやすい

### その他

世界遺産についての百科事典をまとめました  
学校で習うことを中心にまとめました  
歴史、豆知識を中心にまとめました  
これを読めば知識が増える！！！！

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

TSUKUBA学びの杜学園に通う子供たちに百科事典を届け、そこに通う子供たちに少しでも良い教育を届けることができた  
自分たちの行いを発信していくことで自分たちと同じようなことにチャレンジする人が少しでも増えてくれたらいいと思う

#### 11、エルサレム (ヨルダン)



3000年の歴史がある都市で、ユダヤ教、キリスト教、  
イスラム教の聖地で各教徒が共生している。信者にとつ  
て重要な意味を持つ遺跡や建物が残っている。  
イスラム教の聖地・岩のドーム  
毎週金曜日には多くのイスラム教徒が  
訪れるキリスト教の聖地・聖墳墓聖堂  
死刑を宣告されたイエスが十字架を背負って歩いた  
「悲しみの道」の終点。  
ユダヤ教の聖地・嘆きの壁  
以前は神殿が建てられていたが2000程前に破壊され壁だ  
けが残った。

#### 今後の展望

今回は世界遺産についての百科事典についてまとめたが他のジャンルのもも作成にチャレンジしていきたい  
今回はTSUKUBA学びの杜学園さんにのみ作成したが何冊も作成して他のところにも届けられるようにしたい  
いろいろな人に見てもらってもっと良いものを作っていけるようにしたい

## コンクリートの上の緑でみんなに幸せをおすそわけ

### 1 目的



#### 解決を目指す課題

**学校のコンクリートでできた無機質な渡り廊下に緑を増やしたい。**

→CO2の削減。

→毎日大勢の児童生徒が行き来する所なので、楽しんでもらえる。

→出来た野菜や花をおすそわけできる。こども食堂でのボランティアを行っているグループとコラボレーションをする。

私たちが目指すSDGsのゴール

コンクリートに緑を

子ども食堂へ

15 陸の豊かさも  
守ろう



13 気候変動に  
具体的な対策を



2 飢餓を  
ゼロに



#### 解決を目指すに至った背景

テレビで東京のオフィスビルの屋上に、畑を作っているニュースを見た。学校でもできるかもしれないと思い、場所を探していたところ、毎日行き来する渡り廊下は何もなくてつまらないことに気付いた。そこで、コンクリートの上に農園をつくることにした。CO2削減に加えて、花や野菜が育っているところを日々目にするだけで、幸せな気分になってほしいと思った。

野菜班2班、花班1班に分かれ、農園をつくっている途中で、こども食堂でボランティアをしているグループの友達から、「できた野菜を提供してはどうか」と相談があった。こども食堂は、親の仕事が忙しい子や、食事と勉強の機会がうばわれないように子どもを救う場所と知り、少しでも役に立てたらと思ってコラボをすることにした。

## 2 手段

### 取組内容

#### ①方法

- ・コンクリートの上に畑をつくるためには、どうして良いか考える。
- ・学校にあるプランター等を集め、土作りをする。
- ・渡り廊下のスペースで、アドバイザーからもらった種や苗で花や野菜の種を植えた。
- ・ダンボールコンポストはつくば市で配布していたものを利用し、追肥として作った。
- ・プランターの置き方を工夫する。

#### ②主体

花や野菜を育て、できたものを配布する。



#### ③対象者…渡り廊下を渡る人全て、こども食堂を利用することも

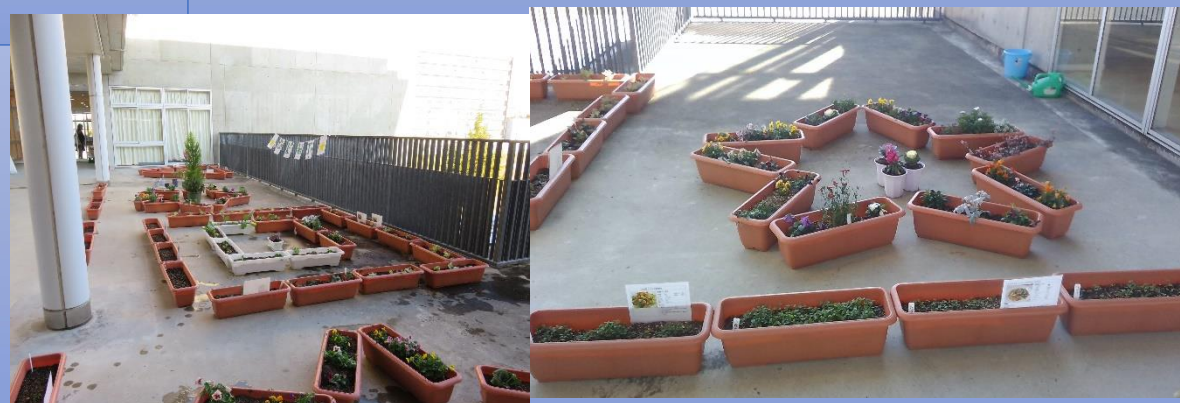
寄付場所…野菜はこども食堂、  
花は、各学年や地域 の施設

#### ④時間・期間

現在栽培しているものは、収穫し、届けるまで（2023年春）、ダンボールコンポストは継続

#### ⑤場所

渡り廊下



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

足りないプランター、苗・種の中で買ったものの値段は5,000円

コンポストは、つくば市で配付された段ボールコンポストを利用（生ごみは、家からもってきている。）



### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

- ・毎日の水上げを掃除の時間に行い、手伝ってもらおう。
- ・プランターなど土を入れるものがあり、水がたまらない場所ならコンクリートの上でも十分育つ。
- ・コンポストには毎日生ごみを入れ混ぜ、暖かい場所におくだけで容易にできる。

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

アドバイザーとして、保育園で栽培指導の経験がある方で、現在も50年間家庭菜園をしている方を迎えた。

（江幡敏夫さん、トシ子さん夫婦 80歳）



### その他

- ・苗、種の半分以上は、買わずに頂いたものや自宅からもってきたもの。
- ・基本生ごみは家庭で出るものをほとんど入れられる。給食のサラダ等の残りも入れられるが、給食はできるだけ食べるようにしたいという思いから、今回は入れていない。

## 3 成果

### 取組の成果（課題解決の程度）

## 解決

①**野菜**・・・野菜は無事に植えられました。まびきながら、大きくなるように冬野菜を大切に育てています。こども食堂の人には見てもらい、楽しみにしていると言われました。こども食堂に寄付するにあたって、子どもが喜びそうなメニューをレシピとして、プランターの近くに掲示しています。見ている人も楽しめるように工夫しています。捨てるアボガドの種を植えると育つことをアドバイザーさんに教えてもらったので、育てています。

②**花&ハーブ**・・・苗、種などいろいろ植えています。苗を植えたのは見た目にもすぐに楽しめるため。種からうえたものは発芽からの成長が見えるようにしています。

③**ダンボールコンポスト**・・・まだダンボールコンポストは完成していませんが、追肥する時までには仕上がる予定です。順調にできています。

### 今後の展望

・農園の名前は「a k u r」にしました。アクシュと読みます。アイスランド語で「畑」という意味です。握手という日本語ともかけて、これからも、農園をきっかけに、みんなが幸せな気分になれると良いなと思っています。

・引き続き、栽培を続けます。アドバイザーの江幡さんにも、分からない時には質問をしながらすすめていきたいです。

・今後は、こども食堂に育てた野菜を寄付をする予定です。

・ダンボールコンポストは、野菜を育てるだけでなく、学校の花壇の肥料にする予定です。

・自分たちの取組は、他の学年、他の学校でも十分できると思います。その良さをつくば市内の学校に伝えていけるようにしたいと思っています。



## 海の豊かさを守ろう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

海洋汚染の現状をたくさんの人に知ってもらうこと、そこから海洋ゴミ削減に取り組む人を増やしていくという課題の解決を目指している。  
海洋ゴミを減らせば海がきれいになり人にとっても海洋生物にとってもよくなる。



#### 解決を目指すに至った背景

現在の海のプラスチックごみなどの現状がとても酷いと感じたのが背景。

## 2 手段

### クイズを作る

- ・小学生向けのクイズを作り海の現状やその対策について知ってもらう
- ・世界地図にあるQRコードを読み込むとクイズが表示されるようにする
- ・自分たちの取り組みをアドバイザーに見てもらう



←作成したクイズ

## 2 手段（取組の特徴）

**コスト**（金銭的・人的・物的な必要コスト）

基本的にコストはかからない

**連携の有無**（多様な関係者との連携が図られた取組か）

**サステイナブルジャパン**

**汎用性**（他の人も実践しやすい取組か）

クイズを作ったり、周りの方々に解いてもらうことは、実践しやすいと思います



**その他**

誰でも簡単に参加できる

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

- ・クイズを作成し、完成させることができた。
- ・アドバイザーに見てもらい、内容についての細かなアドバイスをいただいた。



#### 今後の展望

- ・校内だけではなく、学校のHP等を利用しながらたくさんの人にクイズを解いてもらい、海の現状について知ってほしい

# 私たちの呼びかけが町を心地よく住みやすく

## 1 目的

### 解決を目指す課題

つくば市のごみを減らすことで住みやすく、住み続けられる町にする  
海洋ごみの7~8割は町（陸）からのごみといわれているので町中のごみを無くすことで海のごみも少なくなる



結果SDG s 14、15番にも繋がる

11 住み続けられるまちづくりを



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



### 解決を目指すに至った背景

町中にはたくさんのごみが落ちているのでごみを無くすことで結果的に街の治安がよくなったりSDG s 15である陸の豊かさをまもろうなどにも効果があり、一石二鳥になると思ったから。実際ゴミが落ちていると僕たちも嫌だから。

## 2 手段

### 取組内容

町中にあるごみの量を減らす

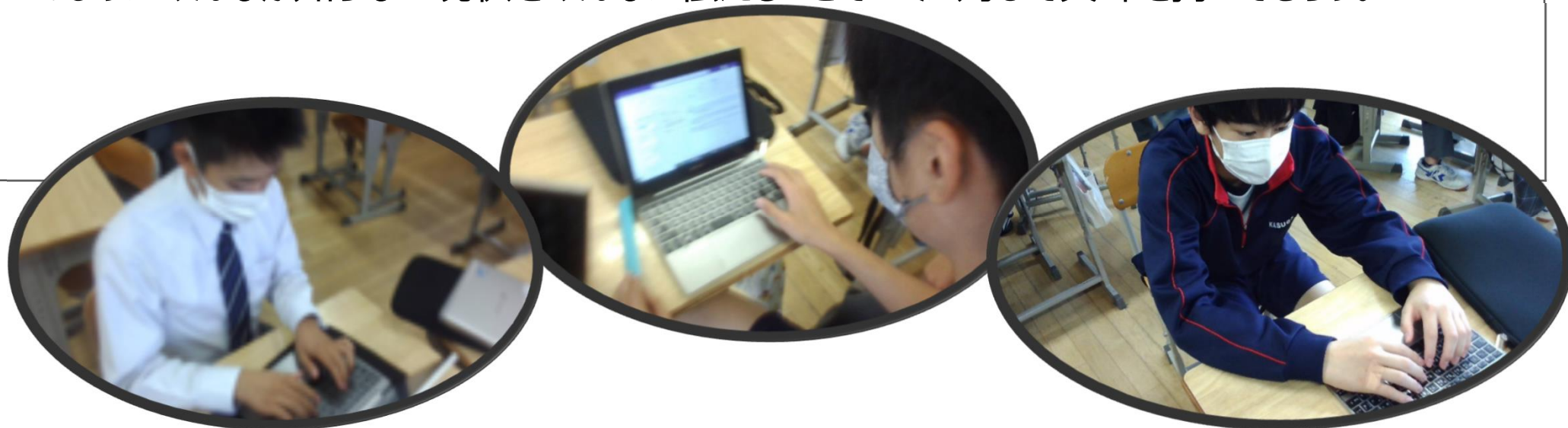
↓ そのために

町中のごみの問題や今置かれている現状をつくば市環境衛生課の方からのアドバイスで知ったり、つくば市の公務員の方々にアンケートに答えてもらい、それをもとにポスターを通して皆にひろめ、結果的にごみの削減に繋がるようにする。

↓ そのために

実際に私たちは、公園にゴミ箱を置くことで逆に公園が汚くなってしまおうという、矛盾が生じているという事実を初めて知り、驚きました。

このようにみんなが知らない現状をみんなに伝えることでゴミに対して興味を持ってもらう。



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

ポスター紙  
つくば市役所 環境衛生課木村様

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

つくば市役所 環境衛生課の木村様に「ゴミ箱を新たに設置することのメリットやデメリット」や、「ゴミ箱を設置しなくてもごみを減らすために私たちに意識してほしいこと」のアドバイスをいただいた。その中で、先程述べた、「ゴミ箱を設置することで、かえって環境が悪くなってしまふことがある。」ということや、「一つの結論を出すために、仲間と話し合ったり、メリット、デメリットを出しては決してを繰り返したりすることが一番大切」というアドバイスをもらい、今も、市内のごみを減らすことを実現する方法を考えたり、それを広めるポスターを作ったりしている。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

ゴミを捨てないこと  
町中にあるごみについてのげ町中にあるごみについての現状を知りそこから何をすればいいか考えること  
ポイ捨てをしている人などを見つけたら注意をすること

### その他

私たちが、ゴミ拾いをするだけでなく、呼びかけることで私たちが直接手を加える必要がなくても継続的にゴミが少ない町にしたい。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

まだ取り組みの途中のため、成果は得られていない。1枚の割られた窓ガラスをそのままにしていると、さらに割られる窓ガラスが増え、いずれ街全体が荒廃してしまうが、割れた窓を治すことで犯罪が大幅に減少したと言われている。アメリカの犯罪学者ジョージ・ケリング博士が提唱したこの割れ窓理論と同じように町中のごみを無くすことで治安を結果的に良くなることを見込んでいる。

#### 今後の展望

私たちがアンケート結果やアドバイスをもとに、ポスターなどをかき、みんなが町中のごみの現状を知り、私たちに何ができるかを自主的に考えることで、町中にゴミが落ちているのを見つけるのが難しくなるような未来を作る。



## 古着をRe makeして無駄を減らそう!!

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

使わなくなった服をまた新たな形で使えるものにする。



Re  
make

#### 解決を目指すに至った背景

リサイクルの活動をしよ  
うと思ったときに、『再利  
用』というワードが出て  
きてRe makeすることに  
した。

- ・ ポーチ
- ・ 布草履  
など

## 2 手段

### 取組内容

1. 方法：古着を集めているTANPOPO班が学校で各フロアの1階に段ボールを設置し、古着を集めました。その中で汚れがあるものや長袖などをRe makeしています。
2. 主体：私たちの班ともう一つの班、TANPOPO班が主体となって活動しています。
3. 対象者：集めた服やRe makeしたものはキューバに送る予定です。
4. 時期・期間：9月26日に目指す課題を決め、その課題に向けて今日まで活動しています。
5. 場所：学校をメインに活動しています。



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

- ・学校で集めた古着
- ・ミシン
- ・アドバイスをくれる先生
- ・服の回収に協力してくれる方々

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

SDGsのもう一つの班、TANPOPO班とのコラボをし、学校の家庭科の先生にRe makeする上でのアドバイスをもらいました。キューバ大使館からキューバ大使に来てもらい布草履を見てもらった。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

キューバに送らなくても使わなくなった服のRe makeなどはだれでも簡単にできると思います。布草履は私たちも初めて作りましたが、きれいにできたので、誰でも簡単に作れると思います。

### その他

古着の再利用では日本に親しみのある草履を作っています。

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

布草履を5足ほど作ることができた。  
ポーチを作ることができた。  
限られた時間で古着のRe make やアドバイスをもらうことができた。  
作った布草履をキューバ大使にプレゼントし、喜んでもらうことができた。



#### 今後の展望

これからはもっとたくさんの布草履を作ったり、筆箱などを作ったりしていきたい。  
布草履を作るときはいろいろなサイズを作っていきたい。



## 河川汚染を防ごう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

私たちは海の生物や環境を守るため、14番「海の豊かさを守ろう」のゴールを目指して、海洋汚染を防ぐべく活動しています。

私たちは海洋汚染の原因に注目しました。

家庭で料理する際に使用された油を排水溝に流すと、河川に流出し、結果的に海洋にまで至ることがわかりました。それらによる生態系の崩壊や環境破壊を防ぐため、油について追及することにしました。

私たちができることは何かと考えた結果、家庭で料理をする際に発生する油をできるだけ排水溝に流さないようにするアイテムを作ることになりました。

調べたところ、油は市販されている専用の粉を使うことによって固めることができるとわかりました。代表的なものとしては「固めるテンブル」などがあります。

私たちはそのような油を固めることができるものを作ろうと今まで活動してきました。



#### 解決を目指すに至った背景

油による海洋汚染が増えているため、油の処理方法を調べてみたところ油を固めれば汚染されることがなく簡単に処理できると載っていたので実行しました。

## 2 手段

### 取組内容

- ① アンケートを実施し、油の処理方法等について情報収集した
- ② 11月11日、春日学園義務教育学校の研究発表の際に来てくださった企業の方々や小中学校の先生方
- ③ アドバイザー：来校者のみなさん
- ④ 約3ヶ月間
- ⑤ 春日学園義務教育学校 校舎\_\_A棟二階

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

- ・画用紙×2
- ・コピー用紙×30

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

- ・つくば市内の小中学校の先生方

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

家庭で実践できることから、他の人も実践しやすいと思う

### その他

油を排水溝に直接流さず、固めたり新聞紙で拭き取ったりするだけで海洋汚染の防止につながりますので、是非皆さんの家庭でも実践してみてください。

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

商品開発まで進んでいないが、アンケートを取ったことによって、課題に対しての解決方法などのアドバイスを得ることが出来た。

#### 今後の展望

油を固めることができる商品を作る。

16日のフォーラムで保護者に伝える。



## 未来に向けての新しい食育

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

- 課題
- ・SDG s は最初の一步が踏み出しづらい。
- ・手軽にできない。
- ⇒人間で一番身近なのは『食』である。

- 解決
- ・12と食を絡めたものをやればいい！

- 調べると
- ⇒「フードマイレージ」というものがでてきた。  
(フードマイレージ = 食料の輸送距離 × 輸送量)
- ・フードマイレージを減らす = CO<sub>2</sub>排出量が減る。⇒環境に優しい。

・フードマイレージを使ってSDG s  
をより身近に感じてもらう！



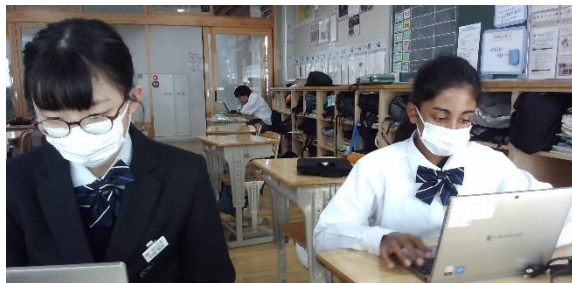
#### 解決を目指すに至った背景

- 課題解決の背景
- ・車に乗らないなどの、手軽にできないSDGsについて、もっと『手軽に』取り組めないかと考えた。
- ・給食の残飯量が多いのに気づき、食についてのSDGsに興味を持った。
- ↓調べる。
- ・残飯量が国ごとに見ても、日本は特に多いことに気が付いた。
- ↓残飯量を減らしたいと考えた。
- ・12の『つくる責任、つかう責任』に着目し、取り組むことに決めた。

## 2 手段

### 取組内容

- ①方法  
花菜さんに電話をかけ、アポを取りました。給食センターさんの栄養士さんと繋がり、給食のフードマイレージが少ない献立を考えました。
- ②主体  
フードマイレージcookingのリーダー中心に、二つの班（花菜班、給食センター班）に分けられました。
- ③対象者  
フードマイレージを使った料理を食べた人
- ④時期・期間  
給食センター班：1 / 24～30のどこかで考えた献立（図1）  
が出てきます。  
花菜班：12月中に料理を決め、出します。
- ⑤その他  
連絡方法) 給食センター班：teams  
花菜班：電話



(図1)



- 給食メニュー
- ・ごはん
  - ・飲むヨーグルト
  - ・鶏のから揚げ
  - ・水菜と大根のサラダ
  - ・けんちん汁

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト

人的コスト：食品を買いに行くこと。

フードマイレージの値を出すため、食品を仕入れている所の輸送量と輸送量を教えてもらうこと。

### 連携の有無

栄養士さん  
給食センターさん  
花菜さん（料理屋）

### 汎用性

- ①他の学校もできる。
- ②国産や地産地消の意識付けができる。

### 利点

- ①誰でも手軽に取り組めること。
- ②国産の食品を買うことで、国の食料自給率が促進できる。

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

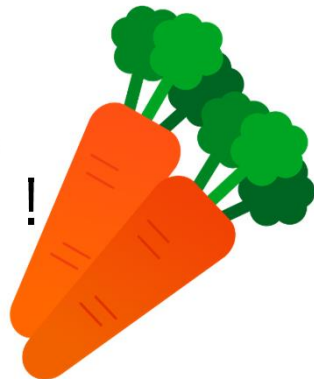
##### ○実施した結果

- フードマイレージについての知識をつけることができた。
- フードマイレージの意識したメニューを提案し、実際に市内の学校に提供することができた。
- 地産地消を意識できるようになった。
- SDGsに興味があわいた。

##### ○どのような良い影響が波及するのか

- 新鮮なものを用意できる。
- 形や大きさが揃っている。
- 品質が安定している。
- 安心感、信頼感がある。

→ 環境問題的にもGood!



#### 今後の展望

##### ○発展

- フードマイレージを使った料理を考え、ネットに公開。
- 花菜のレシピを完成させる。

## 「フードロスをなくそう」

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

- 貧困層の人々を助けるために子ども食堂などや、学生への支援団体に、農家とつながっている企業さんを通して、茨城県の農家から出た規格外野菜を提供する。
- 特に子ども食堂は継続的に支援する方向にしたい。
- 規格外野菜を送る際の輸送料
- 輸送に使う段ボールをどう集めるか

#### 1. 貧困を無くそう



#### 2. 飢餓をゼロに



#### 解決を目指すに至った背景

- コロナウイルスの感染拡大などを受けて物価の高騰があり、貧困層の生活に影響を与えているというニュースをみた。
- 貧困や飢餓について調べていくうちに、アドバイザーやインターネットなどから「フードロス」について知り、それが貧困や飢餓を減らすカギになると思ったから。
- ニュースだけでなく、スーパーに行った時は「値上がり」の値札をたくさん見かけた。  
→日常でもすぐ近くに食料不足の危険が迫っていると思ったから。

## 2 手段

### 取組内容

1. 飢餓や貧困をなくそうという思いから、活動の計画を立てた。
2. 食物の野菜の分野で詳しいハナワ種苗さんに協力をお願いし、アドバイザーになってもらった。
3. ハナワ種苗さんから農家などで実際に起こるフードロスの現状・知識について聞いた。
4. フードロスやその解決法についての考えについての発表を学校で聞いてもらい、活動についてハナワ種苗さんからアドバイスをもらった。
5. ハナワ種苗さんのアドバイスから取り組みの課題を見つけ出し、その解決法をインターネットを活用したりして考え、ハナワ種苗さんに実現可能か聞いた。
6. 農家が出た「規格外野菜」を無駄にしないために、支援団体に連絡を取り、協力をお願いした。
7. 協力してくれる子ども食堂（マナーズさん）とハナワ種苗さんをつなげる。
8. 学生に支援する団体（つくばPEACEさん）に規格外野菜を寄付する。

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

- 段ボールなどの容器の調達にお金がかかるが、スーパーなどの段ボールの寄付をお願いしてもらうという解決法がある。
- 輸送費は、ボランティア団体や、寄付先の方々に直接取りに来てもらうという計画。

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

- ハナワ種苗さんと連携して取り組みを行う。
- 協力してくれる支援団体のマナースさんとハナワ種苗さんを自分たちを通してつなげる。
- メールを通して、自分たちと支援団体のつくばPEACEさんがつながる。

### （他の人も実践しやすい取組か）

- 野菜等を扱う会社だと運搬を担う団体などにつながっている可能性があるので紹介してもらえるかも。
- 子ども食堂だけでなく、ほかの食料を扱うような支援団体も、地域の農家さんと連携していけば運営のコストもかからずに、活動をすることができる。

### その他

- このように農家と食堂などで連携して、フードロスを減らす取り組みを進めていけば、日本の食料問題が解決していく可能性がある。
- 規格外野菜などを寄付するだけでなくスーパーなどで安く売るなどとしても、農家さんへ費用が還元されるうえに、外国からの輸入する食料を少なくし、日本の食料自給率を上げることもできる可能性が高い。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

- 貧困や飢餓についての知識を深め、プレゼンテーションを実行した。
- 貧困や飢餓、フードロスなどの現状についてのプレゼンテーションを見に来た人々に発表し、呼びかけた。
- フードロスをキーワードに製作した「CM」を作ってフードロスの現状を伝えられた。
- NPO法人マナーズさんの子ども食堂とハナワ種苗さんをつなげることができた。
- 学生への支援をする団体のつくばPEACEさんとメールを通じて、やりとりし、ハナワ種苗さんをつなげることができた。



#### 今後の展望

- 農家とつながっている企業さんと、子ども食堂や支援団体などをつなげて、規格外野菜などの廃棄を減らし、日本のフードロス削減につなげる。
- この活動が子ども食堂などの施設やハナワ種苗などの連携している会社を通じて、社会全体に広がるかも。
- マナーズさんの子ども食堂に今後継続的に規格外野菜の寄付が行われると期待される。
- これから学生などへの規格外野菜の寄付が行われる。  
↓  
寄付が学生以外にも広まり、少しでも貧困や飢餓を手助け出来る存在となるかも。





## ケーキのレシピを作成して、地産地消を広めよう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

13. 地産地消をし、フードマイレージを少なくすることで輸送時に出る二酸化炭素を減らします。
15. 地産地消をし、陸の豊かさを守ります。



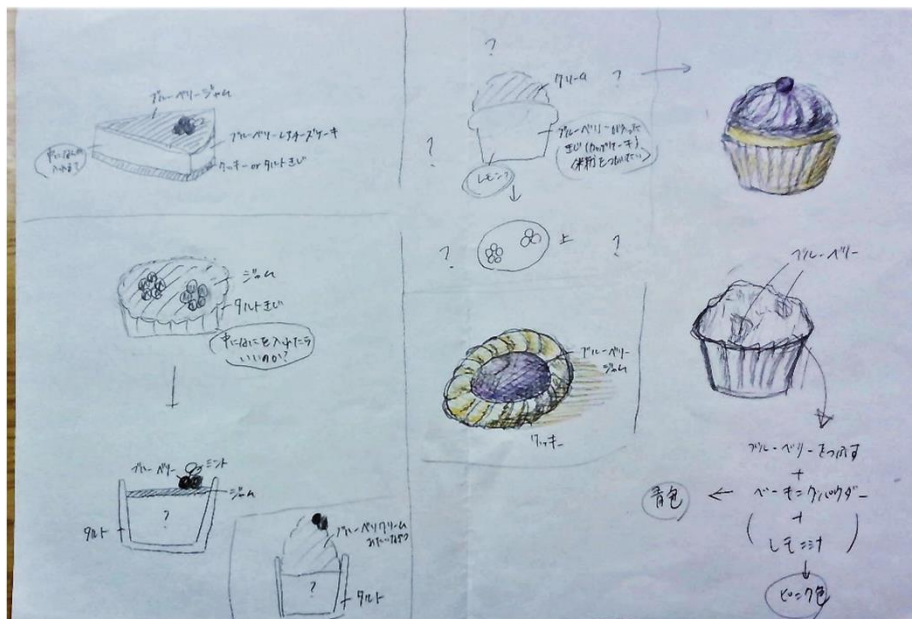
#### 解決を目指すに至った背景

深刻な問題で身近にあるものとして「気候変動」が挙げられました。そして、私たちができることは二酸化炭素の削減ではないかと考えました。そこで、スーパーなどでも推奨されている地産地消に目を付けました。また、地産地消は、陸の豊かさも守ることにつながるため、15番も関係するとわかり、この二つにしました。

## 2 手段

### 取組内容

- ①つくば市で有名なブルーベリーを使ったケーキのレシピを考え、提供します。
- ②秋本歩乃果、山下綾乃、山内珠子、櫻井正宗、木村悠人
- ③つくば市内の住民
- ④今年度中にレシピを考え、今後少しずつ広まっていけばいいなと考えています。
- ⑤つくば市内



↑今考えているケーキのアイデアです。

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

#### 材料費（検討中）

ガトープーリアさん、アオニサイファームさんにご協力していただいたこと  
ブルーベリーなどケーキの材料、  
レシピを書いた紙、  
レシピを提供する場所

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

ガトープーリアさん（ケーキ屋さん）  
→ケーキ作りや、ケーキのアイデアについてアドバイスをいただきました。  
アオニサイファームさん（ブルーベリー農家さん）  
→つくば市のブルーベリーの紹介  
企画「ワニナルプロジェクト」

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

ガトープーリアさんにご協力していただいてレシピを制作し、誰もが家で簡単に作れるように工夫したいと思っています。



### その他

皆さんに「おいしい」と言っていただけるレシピを作れるように頑張ります。  
つくば市の農産物をなるべく多く取り入れていきたいと思っています。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

私たちの作ったレシピを沢山の人が見て、地産地消に少しでも興味を持ち、つくば市の食材を沢山使われるようになる、という成果を期待しています。

また、市内の農家さんの活性化につながる事ができたら、さらにいいなと思っています。

#### 今後の展望

今後は作ったレシピをつくば市内のいろいろな場所に提供し、たくさんの人の目に留まるようにしていきたいと計画しています。

## 家庭内でエコ活動をみんなに実践してもらおう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

- ・家庭内でエコ活動をみんなに実践してもらうために、家庭内でできることを調べ、みんなに広められるように、資料にまとめて発表する。
- ・各市町村のごみについても調べてごみの量を減らせるような活動をする。  
（ポスターにまとめる…など）
- ・調べた内容をポスターにまとめ、校内に貼る。

#### 解決を目指すに至った背景

- ・家庭内でできることを調べる。
- ・ポスターを作る。
- ・つくば市のごみの量を調べてランキングにまとめる。

## 2 手段

### 取組内容

■どのような取組を行ったのか、

①**方法** ポスターを作る

②**主体** 春日学園義務教育学校 鈴木班

③**対象者** 小・中学生

④**時期・期間** 今年度中

⑤**場所** 学校

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

特にコストはかからない

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

鈴木 理映様（東京工業大学）

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

ポスターを張って、  
ポスターで呼びかけ、みんなが実践してくれるようにする。

### その他

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

**ごみを出さないために家庭内でできること**  
**主な市町村のごみの排出量**  
**課題の発見**

#### 今後の展望

- ・海岸線などを地図で示す  
ゴミがどのようにして海に行っているか
- ・1人当たりのごみの排出量  
どんなごみが多いか



## 飢餓をなくそう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

食材が足りない、またお金がないから食べ物を十分に食べることができない→飢餓が起きる

2 飢餓を  
ゼロに



#### 解決を目指すに至った背景

こどもの家食堂へ野菜を寄付して少しでも飢餓を減らす

## 2 手段

### 取組内容

- ①野菜を提供できる場所（こどもの家食堂）を探し、現地に行ってインタビューと手伝いをした
- ②班のメンバー
- ③食事をあまり食べられていない方達、こどもの家食堂
- ④9月後半～現在
- ⑤学校、こどもの家食堂

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

こどもの家食堂の方（宅間さん）  
野菜作りに必要なもの

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

アドバイザーの方にインタビューをして、  
分からないところや困っている野菜などを聞いた  
実際に子ども食堂に行ってボランティア  
をした



### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

こどもの家食堂というものがあるということを認知  
してもらう

### その他

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

子どもの家食堂との関わりを通して、つくば市内にも低価格で子供たちに食料を提供している場所があることを知れた。子ども食堂に寄付する野菜を作りながら、ほかの人たちにも子ども食堂の存在を広め、飢餓をなくせるように活動していく。

#### 今後の展望

他の班と共同で野菜を育てて、来年の春あたりにこどもの家食堂へ野菜を寄付できるようにする。

## フードマイレージを身近なものに

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

13 気候変動に  
具体的な対策を



フードマイレージの意味を知らない人たちに広めてフードマイレージを下げる活動を広めてフードマイレージを下げること。

・フードマイレージを下げるということは二酸化炭素を減らしているのとはほぼ同じなのでゴールが13番の「気候変動に具体的な対策」をの目標になった。

#### 解決を目指すに至った背景

- ・わかりやすいイラストを使って新聞を作りフードマイレージとは何なのか、また減らすにはどうしたらいいかを広めた。
- ・フードマイレージが一番低い人が勝ちという小さい子でもできてフードマイレージについて学べるカードゲームを作った。

## 2 手段

### 取組内容

#### 1 方法

- ① 学校の給食のメニューを選んだ
- ② ↑で選んだメニューの材料を調べた
- ③ 材料の産地をアドバイザーに聞いた
- ④ ②と③をもとに各食材のフードマイレージを計算した
- ⑤ フードマイレージカードを作った →



#### 2 主体

春日学園 8 学年 たまごっちーズ

#### 3 対象者

低学年が遊べるカードゲームにする

いか 50 g 青森県 八戸港 560 km		鶏肉 100 g アーカンソー州 18515 km		小麦粉 100 g ノースダコタ州 8971 km	
玉ねぎ 50 g 北海道 北見市 917 km		ブロッコリー 50 g 愛知県 452 km		ほうれん草 50 g 千葉県 野田市 23 km	

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

・給食センターの管理栄養士の方に教えてもらった

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

給食センターのアドバイザー（管理栄養士）に材料の量の平均や一日分の合計などフードマイレージを求めるために必要な情報を聞いた。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

自分たちが作ったカードゲームを遊んでもらうことや給食やご飯を残さず食べるだけでもいいのでその点ではほかの人でも実践しやすい。

### その他

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

- ・フードマイレージを同学年に広めることができた
- ・よくある給食のフードマイレージを詳しく知ることができた
- ・また給食は国産が多いのかそれとも外国産が多いのかがメニューごとによくわかった
- ・カードが完成したら、低学年で試してから、児童館や学童クラブに寄付する

#### 今後の展望

- カードの種類を増やす(違う量のカードや〇〇のメニュー専用のカードなど)
- ・ポスターなども作る
- ・身近にできるフードマイレージを減らす方法を考える



## 安全な水とトイレを世界中に

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

春日学園にある雨水貯留槽の使い方について調べる。  
災害などで水不足がおきたときの春日学園の対策について調べる。



#### 解決を目指すに至った背景

日本におこるの水不足について調べたときに、渇水や災害など、日本にも水不足は起こると気づいた。  
この水不足に備えるために、春日学園にある使われていない雨水貯留槽の使い方について調べてみようと思った。

## 2 手段

### 取組内容

① 11月10日に教頭先生に学校にある雨水貯留槽についての使い方と春日学園の水不足に対する対策について質問し、11月11日にご来校して頂いた各学校の先生方に雨水貯留槽の使い方についてアンケートを取った。

② 春日学園義務教育学校 ごじゃっぺ班

③ 学校関係者

④ 約三か月間

⑤ つくば市

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

なし

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

- ・春日学園義務教育学校の教頭先生
- ・つくば市の学校関係者
- ・つくば市教育局教育施設課の山田せりかさん

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

各学校の雨水貯留槽の有無と用途, SDG's の水不足への対策についてのアンケートを行った。ほかの人も取り組みやすい活動。

### その他

- ・学園でできることを考えているため、現実的である点
- ・使われていない雨水貯留槽の使い方を考え、教頭先生に提案している点

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

春日学園の水不足に対する対策と雨水貯留槽の現状について調べた。また、春日学園の雨水貯留槽の使い方をよりよくするため、つくば市の小中学校の雨水貯留槽水の有無についてや、その学校での水不足に対する活動を調べ、知ることができた。

春日学園の雨水貯留槽は、利用されておらず、今後どのように使っていくかも定まっていなかったため、つくば市にどのような目的で設置したのかを調べた。

春日学園に雨水貯留槽の利用法を提案した。

#### 今後の展望

春日学園の雨水貯留槽の利用法についてまとめた資料を学校に提出し、より実現につながるようにする。

## TMH株式会社の取り組み

### 1 目的

#### 解決を目指す課題



つくば市の魅力を市内だけでなく、他県にも伝え、多くの人に知ってもらうとともに、茨城県の魅力度を上げ、つくば市をよりよくすることが目標です。

#### 解決を目指すに至った背景

国語の授業を通して、自分たちの地元であるつくば市の魅力を新たに発見した！



「こんなにすごいつくば市をもっともっとほかの地域や県につたえたい！」



「どうしたら多くの人に伝えられるだろうか？」



「プレゼンテーションを行うことによって多くの人に伝えられる！」

## 2 手段

取組内容		
何をしたか	具体的な内容	場所
地産地消に取り組んでいる店の調査	食材を買う 調査する	イーアスつくばの八百屋さん
食材を使って調理する	調査した調理法で料理 (つくば市の食材)	各家庭
プレゼンテーションコンテストの応募(ショート)	短いプレゼン資料を作る、プレゼンの練習をする	学校
プレゼンテーションにまとめ、学校で発表(ロング)	長いプレゼン資料を作る、プレゼンの発表	学校
岐阜にアポをとる	つくば市の魅力を岐阜へ！	学校 (オンライン)

- ・ プレゼンテーションコンテストの応募→つくば市の魅力を発信 (つくば市内)
- ・ プレゼンテーションの学校での発表→つくば市の魅力を発信 (学校内)

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

- ・料理するのに必要な地産地消の食材  
→全員でイーアスの地産地消のお店に行く  
→お店の方にインタビュー…つくば市の特産物について

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

- ・副校長先生にプレゼンテーションのアドバイスをいただいた  
→「強調したいところを声、顔の表情で表現するとよりよくなる」などといったことを教えていただいた

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

- ・他の学校でもできる

### その他

- ・たくさんの人に地域の魅力を広められる
- ・プレゼンテーションを通して、地産地消の食材を使った料理や調理方法などを伝え、知ってもらえることができる。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

##### ▶プレゼンテーション

→春日学園にきてくださったつくば市の  
様々な方に、つくば市の魅力を伝える  
ことができました。

##### ▶お店での調査

→つくば市にはおいしい野菜や果物が  
たくさん！



#### 今後の展望

##### ▶もっともっと他の県の方に、 つくば市の魅力を広める！

→プレゼンテーションだけではなく、  
YouTube(顔出しは無し)などの作成  
をし、つくば市の魅力を広める。

##### ▶他の県の学校にリモートでつな ぎ、魅力を伝えたり動画を見て いただいたりして、広める！

[実際に、今、岐阜県の学校とアポを取って、1  
月に発表をする予定です。]

##### ▶つくば市の魅力がいっぱい つまった商品を作りたい！



## 低学年生に演劇をして、海洋汚染を知ってもらおう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

海洋汚染について知り、  
発表する。



#### 解決を目指すに至った背景

- 海洋プラスチックによる海洋汚染が進んでいる
- つくば市には海がないので、小さい子たちは海の状況を知らない。
- 自分たちも詳しくは知らない。

## 2 手段

### 取組内容

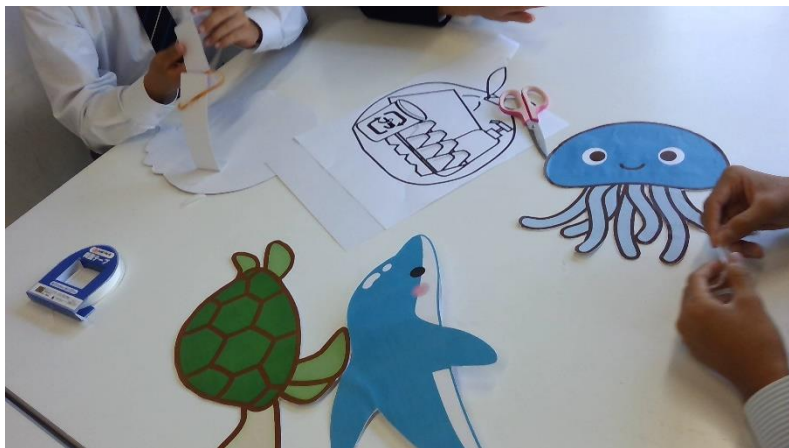
海洋汚染について調べる。  
小さい子たちに伝わるように演劇を行っている。



## 2 手段（取組の特徴）

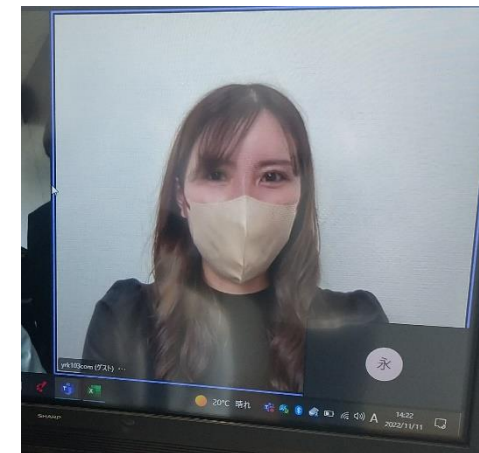
### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

お面に使用した画用紙、普通紙



### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

住谷 由利佳 様  
（幼稚園の先生）  
オンライン会議で繋がり、  
劇を見てもらいました。



### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

劇をつくり、発表する活動は、小中一貫校に所属する中学生は実践しやすいです



### その他

### 3 成果

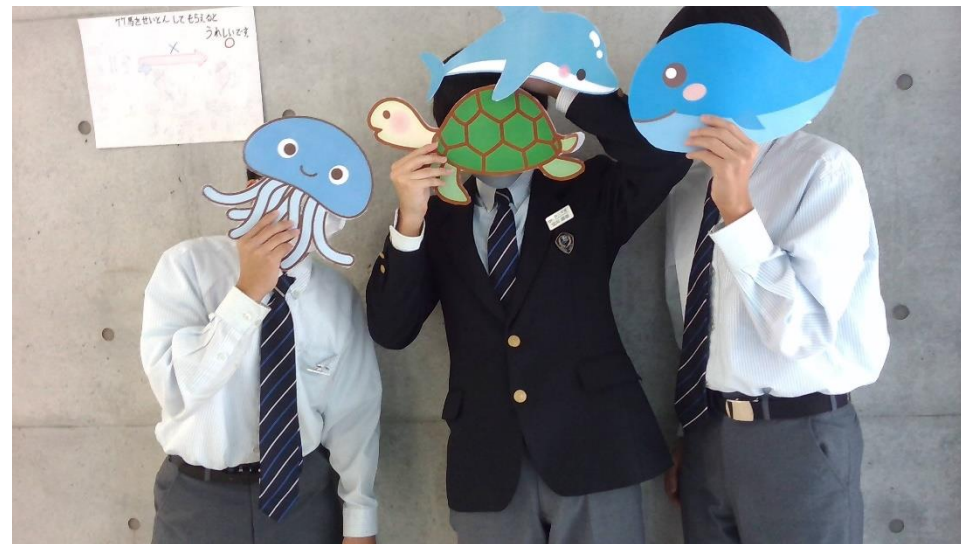
#### 取組の成果（課題解決の程度）

- ・海洋汚染について深くまで調べ、現状を知ることができた。
- ・アドバイザーの住谷さんから、声の強弱、間の取り方、音楽を使うことなど、劇に関するアドバイスをいただいた。  
→低学年との関わり方について考えることができた。
- ・外部の方々との話し方やマナーが分かった。



#### 今後の展望

実際に小学校低学年生に演劇を発表をし、海洋汚染について知ってもらおう。



## 家に眠っている服をリユースして、遠く離れたキューバの人を笑顔にしよう！

### 1 目的

#### 解決を目指す課題



私たちは、1 2のつかう責任に注目しました。そして、3Rの中でリユースというものに視点を当て、まだ使えるものを捨てるのではなく、それを必要としている人に届けることで、**まだ使える物資を捨てるという状況をなくし、服が足りなくて困っている人へ寄付する**ということを課題としました。

そしてリユースに取り組むうえで、集まった服などを満足に生活できていなかったりする人へ届けることで1の貧困についての目標についても取り組むことができると考えました。

#### 解決を目指すに至った背景

昨年度、7年生の時には1 2「つくる責任・つかう責任」を目標として、学年内で子ども服を集め、市内の学童クラブに届ける取り組みをしました。自分たちが思っている以上に「ズボンは汚れるから洗い替えとしてたくさんもらえてうれしい」と喜んでもらったことから、学校全体でリユースの活動に取り組みたいという思いが高まりました。8年生になり、新しいグループのメンバーも加わり、あらためてSDGs活動内容を考えていたときに、キューバでは、9月26日から27日にかけてハリケーン・イアンが通過し、暴風雨による被害が発生しました。日本時間5日時点の今回のハリケーンによる被害は、死者3名、避難者約7千人、被災者約50万人です。家など、建物が多数倒壊し、生活するのが困難な状況になっています。

そこで私たちは、少しでもキューバの人々の助けになりたいと思い、服を集めて寄付することに決めました。

## 2 手段

### 取組内容

#### 1 方法

- (1)回収箱を作成・設置
- (2)服の回収
- (3)服のサイズ分け・整理
- (4)草履に適している素材の服を提供
- (5)キューバ大使にご来校いただき、  
自分達の活動の紹介

#### 2 主体

春日学園 8 学年 TANPOPO班とメイクユーズ班

#### 3 対象者

キューバ大使館・キューバのハリケーン被災者

#### 4 期間

9月26日 活動目標を決めた

服の回収 11月4日～11月18日（30日まで延長）

服の仕分け11月4日～12月16日 →大使館と相談し、送付へ

#### 5 場所

校内をメインに回収→キューバ大使館→キューバへ送付

#### 6 発信

12月16日春日SDGsフォーラムの中で取組を発表



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

- ・段ボール（集めるためのもの）無料
- ・ペットボトル：無料
- ・ガムテープ：学校のもの
- ・画用紙
- ・服：保護者にも協力してもらって集める
- ・協力者（児童生徒とその保護者）

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

- ・キューバ大使（キューバ大使館）
- ・春日学園の児童生徒とその保護者、教職員
- ・8年メイクユーズ（古着でリメイクをしていた班）

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

- ・段ボールと協力する気持ちがあれば可能
- ・キューバに送らなくても服の回収やリメイクなどのリユース活動はできる

### その他

- ・収集箱を「きつねとこあらどっちが好き？」「そばとうどんどっち派？」などの投票制にする工夫をしたことで回収率が上がった。
- ・段ボールをデコレーションすることで低学年も協力しやすくした
- ・スクリーンで保護者全員に取り組みを配信したりPTAで広めたりすることで保護者の関心を高めたことで、大人の服もたくさん集まった。



### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

服の回収を全校生徒及びその保護者の方々に呼び掛けたところ、期間以内に想像を超える大量の服が届いた。学年の友達にも協力してもらって、服を大人用・子供用、Tシャツ・パンツ、タオル、未使用の服等に仕分けた。

取組の内容へのアドバイスや質問を、キューバ大使館にメールをした。AETの先生や英語に堪能な友達に聞きながら何度かやりとりをしていたところ、キューバ大使が来校して下さることになった。キューバ大使からは、今、必要とされているものやキューバという国について、そしてキューバと日本の関わりについての話があり、キューバという国についても理解することができた。キューバ大使に、春日学園についても知ってもらうことができた。

薄めの服が好まれることやタオルなども必要だと分かったので、その後も回収活動を行い、服の仕分けと管理を続けた。

#### 今後の展望

1 1月で服の回収が終了したので、キューバ大使館を通して、キューバに服を送っていく作業を行う。その際に、自分たちからの手紙もいれたいと思う。

家に眠っている服が、困っている国や人にとって、とてもありがたいものであることを知ったので、学年、学校では実施できたので、地域やつくば市でこれからも、リユースの活動を広げていくお手伝いをしていきたい。





## 植物発電で地球温暖化の進行を止めよう！

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

地球温暖化の進行を止めるため、二酸化炭素を生み出さずに発電する

→7番 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13番 気候変動に具体的な対策を  
の2つの目標の解決につながる

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



13 気候変動に  
具体的な対策を



#### 解決を目指すに至った背景

学校の授業でSDGsについて学習し、地球温暖化が進行する主な原因となる二酸化炭素が排出されているのには、日本の主な電気の発電方法が、火力発電で、その時に大量の二酸化炭素を排出していると知って、課題の解決を目指すことになりました。

## 2 手段

### 取組内容

植物発電のことをインターネットで調べました。

株式会社ニソールが販売する植物発電のキットを購入しました。

植物発電キットを販売している会社の方・植物発電の開発者とteamsのオンライン会議を使って話し合いをし、発電についてアドバイスをいただきました。

期間・・・2022年9月頃～現在

活動場所・・・春日学園義務教育学校敷地内、葛城公園

発電場所・・・校庭、花壇

↓ 実際の植物発電キット



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

#### 人的コスト

株式会社ニソール 田崎さん

植物発電開発者 水野さん

#### 物的コスト

株式会社ニソール N-Energy 植物発電、自然  
発電体験キット

#### 金銭的成本

発電キット代 9690円

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

株式会社ニソールの田崎さん、植物発電開発者の水野さんと話し合いをして、植物発電をする上での注意点や、植物発電キットを使わずに植物発電を行う方法などの、アドバイスをいただきました。今後の活動においても、植物発電を実施する上で、田崎さんや、水野さんと連携していきたいと思います。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

備長炭・金属（マグネシウムが最適）・導線・豆電球があれば発電ができるため他の人も真似しやすいです。

### その他

私たちは身近な材料と植物を使ってクリーンな電気を生み出すことができます！

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

田崎さん、水野さんとの会議で植物発電キットのほかに、身近なものでも植物発電をすることが可能ということが分かりました。  
植物発電キットや、身近なものを使った植物発電の実験をまだやる事が出来ていないが、身近にある材料で発電をすることができると分かりました。

#### 今後の展望

キットを使った方法やキットを使わない方法の両方で発電の実験を実施したのち、その実験で得たデータを資料にまとめて、最終的には、自然環境が十分に整っていて植物発電するのに適しているつくば市で、災害時の発電用や、電線を通すことができない山道などでの街頭の発電用などに実用されるようにつくば市に提言していきたいと考えています。

## 海面上昇を防ぐ

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

海面上昇の主な原因となっている地球温暖化を防ぐために太陽光発電によって二酸化炭素の排出量を減らす。

**13** 気候変動に  
具体的な対策を



**7** エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



#### 解決を目指すに至った背景

二酸化炭素は2013年頃から現在にかけて、  
あまり減っていない



二酸化炭素を減らすために  
自分たちが学校や家でできることを  
考える



アドバイザーから  
二酸化炭素削減の方法を聞く



聞いたことをスライドや動画にわかりやすくまとめ  
る



みんなに行ってもらう

## 2 手段

### 取組内容

- ①二酸化炭素を減らす取り組み
- ②杉田、東條、長谷川
- ③生徒、親、先生
- ④ずっと行う
- ⑤学校、家

## 2 手段（取組の特徴）

**コスト**（金銭的・人的・物的な必要コスト）

環境政策課の方

**連携の有無**（多様な関係者との連携が図られた取組か）

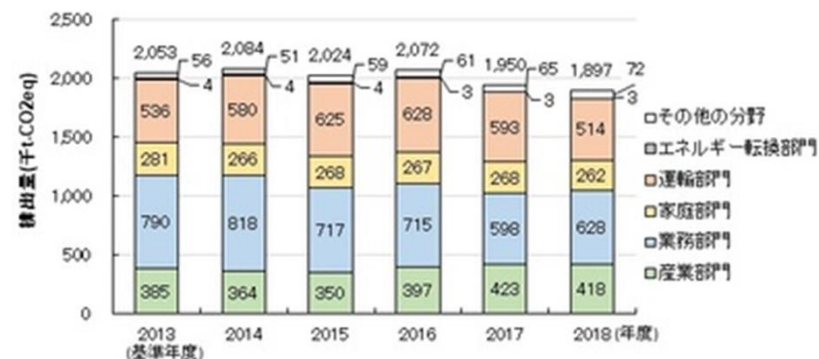
環境政策課の方と二酸化炭素を減らす取り組みの方法を教えてもらう関係

**汎用性**（他の人も実践しやすい取組か）

こまめに電気を消したり、手洗いやうがい、歯磨きの時に水を節水するなど、家や学校で取り組みやすい

**その他**

活動で使った二酸化炭素排出量のグラフ



### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

来ていただいたアドバイザーの方に聞いたことを動画にまとめて、どうすれば二酸化炭素が削減できるのかを考えている。

特定の者だけでなく、多様な関係者や幅広い地域に良い影響が波及するものである。

活動の様子↓



#### 今後の展望

家庭や学校で二酸化炭素を減らす方法を考えて、学校の生徒に広める。



## 暴力を極力減らすためには

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

#### 目標

世界から少しでも暴力をなくすために  
自分たちが取り組めることはなんだろう。

#### ゴールとの関係

ウェブサイトをつくり、暴力について呼び  
かけること

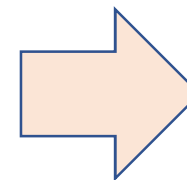


#### 解決を目指すに至った背景

世界には暴力を受けて苦しんでいる人が多くいることを知り、なぜなくならならないの？



ウェブサイトをつくり様々な人に知ってもらい、自分たちの力で少しでも心が軽くなる人がいたらいいなと思った



## 2 手段

### 取組内容

- ①方法・・・暴力をなくす取組や特徴を調査  
→ ウェブサイトを作る
- ②主体・・・全員（佐々木孝彰）
- ③対象者・・・中高生、大人
- ④時期、期間・・・2022.5～2022.11
- ⑤場所・・・8-2,8-2前廊下

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

かからない！

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

アドバイザー・・・対面  
11/10のお客様・・・アドバイスをいただいた

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

誰でも簡単にホームページが見ることができ、それにアドバイスすることもみんなに話したりして広めることもできること。

### その他

暴力を極力減らすにはどうしたらよいか、皆さんも考えてみて下さい。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

調べたことをもとに  
ウェブサイトを作り  
学校の人やお客様に  
広めることができました。

クイズを入れることで  
中高生も見やすい  
ウェブサイトにした。

が、特定の人しか  
見られなくなってしまった



世界から少しでも暴力をなくすために  
自分たちで取り組めることは  
**一人一人が暴力について知り  
意識すること**

SDGs16 平和と公正をすべての人に 暴力について

暴力には様々な種類がある!?

暴力には 身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、社会的暴力、経済的暴力があ

「暴力って、殴る、蹴る以外にもあるんだね、..」

暴力をしてしまう人の特徴



・頭に血が上るとすぐに手が出てしまう

・それによって相手がどうなるかは考えていない

・すぐに被害妄想を膨らませて暴れだす

・相手を支配したい

・暴力をかけた方がいいと思っている

など

暴力と闘について

#### 今後の展望

自分たちで  
特定の端末で以外でも見られるサイトについて調べ  
もっと様々な人に見てもらえるような  
ウェブサイトを作りたい

## ガチャガチャでSDGs！

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

- ★多くの人にSDGsの存在や意味などを知ってもらいたい↓
- 下級生にSDGsを知ってもらう（家庭にも伝われば更に◎）

#### 【活動内容と目的】

★ガチャガチャを製作する。

①カプセルの中身をSDGs関連のクイズやパズルにする→パズル完成、クイズに正解すると景品をゲットできる（下級生の興味を引き、楽しみながらSDGsを知れる仕組みになっており、未来ある街を作るためのアドバイスになる。）

②ガチャガチャのコインにペットボトルキャップを代用（同時にリサイクルをしてもらい、排出するごみを減らすことで温暖化対策になる。）

〈アドバイザーにいただいた案〉

- ・委員会と協力してイベントを開く。
- ・ガチャガチャの景品はシール、缶バッジなど、作れて、地球に優しく（再利用したものなど）、SDGs関連の柄にするとよいかも。
- ・下級生はカラフルに惹かれる。→ポスターを作るならカラフルに。

11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



#### 解決を目指すに至った背景

下級生に、これから大事になってくるSDGsについて知ってもらいたい↓

【経緯】最近よく耳にする「SDGs」という言葉を、小学生はあまり理解できていないと考えた。これを改善出来れば、小学生からでも自分にできるSDGsについて意識、行動が出来ると思ったから。

【ガチャガチャを採用した理由】

小学生から大人までが興味を持ち、楽しんでもらえるような発信方法だと考えたから。

## 2 手段

### 取組内容

下級生に向けたガチャガチャを製作しています。  
パズルのピースやクイズを景品にして、SDGs について楽しく知ってほしいです。  
コインの代わりにキャップを入れてもらう方法で、  
同時にペットボトルのキャップも集めるようにしています。  
集めたキャップはリサイクルすることで新しいものに生まれ変わります。  
例えば・・・車の部品、植木鉢など身近なもの  
また、売却したお金でワクチンに生まれ変わることが出来ます。



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

#### ★ガチャガチャのコスト

ガチャガチャに使った画用紙代が学校のものもらったのでわからない  
ガチャガチャの回すところが持ってきたペットボトルで0円

カプセルが持ってきたものなので0円

#### ★中身にしようとしているもの

クイズは余った紙なので0円

パズルはいらない段ボールで作っているので0円

ブレスレットのビーズはいらないペットボトルなので0円

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

学校の先生方  
班の人の家族  
児童、生徒

などの方々と連携できる取り組みだと思えます

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

#### 【ガチャガチャ作りに関して】

ガチャガチャ製作→YouTubeで解説を聞きながら、段ボールなどで作れる。

クイズ作成→広めたい内容にすると作りやすい。

ほとんどの人が参加しやすく、協力しやすいと思います。

SDGsを知れるクイズなので、年齢関係なく参加できるし、学びもあるので、目的にあっていると思います。

### その他

- ・興味を持ってもらうため、今流行りのガチャガチャを取り入れました。
- ・ガチャガチャの景品は再利用したものを使ったり、SDGs関連の物にしたるするなど、環境に配慮してSDGsを伝えられるものになっています。
- ・ガチャガチャをするためにペットボトルキャップが必要になるため、同時にリサイクルをしてもらえるような仕組みにしました。

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

私たちの取り組みの成果として挙げられるのは、プラスチックは様々な用途があり、リサイクルすることができるということができたことと、それを活用しガチャガチャの景品として使うことができたことだと思います。ですがまだ途中のこともあり、例えば、ガチャガチャ本体は作ることができているけれど、景品とガチャガチャのカプセルの中身があまりできておらず、ガチャガチャが設置できないことです。大体、十二月五日あたりに設置結果の収集をしようと考えています。なので、これからも課題解決に取り組んでいきたいと思っています。

そして、この影響が及ぶ範囲については、良い影響は伝わっていくと思っていますが、ガチャガチャやカプセルの中身などをたくさん作らなければならないため、あまり多くの地域には広めることが出来ないと考えています。しかし、これからも続けていけば、学校内では続けることもできるのではないかと思います。私たちはこの活動が良い影響になるなら福祉エコ委員会などとの連携、協力もしていきたいと思っています。また広がるとしてもおそらくは学校の先生、生徒、児童、その親その程度にしか広がらないと思います。ですが、多くの人に共感されるようなカプセルの中身を作っていこうと考えています。例(SDGsのクイズなど)

#### 今後の展望

今後、このガチャガチャを使ってSDGs について沢山の人の人に知ってほしいと思いました。またこの活動を通して、自主的にSDGs の活動に取り組んでほしいと考えています。

今ガチャガチャを設置しているのは、3年生のフロアのみですが(台数的に)、これからもっと台数を増やしていき、対象範囲を広げていきたいと思っています。

他にも景品としているものにエコ製品を使ったり、SDGs関連の景品を増やしたりなど、SDGs を日常にしていきたいと思っています。



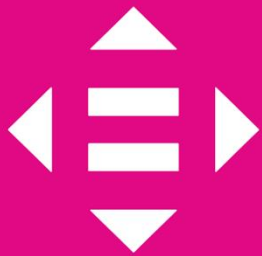
## 福祉体験を通して、人や国の不平等についての理解を深めよう！

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

世界には様々な異なる人がいて、いまだに世界の平等が完全に実現されていないということを今の子どもたちがあまり理解できていない。その現状を踏まえて、少しでも理解してもらうことを目指す。

10 人や国の不平等  
をなくそう



#### 解決を目指すに至った背景

学校の授業でSDGsについて学習し、人や国の不平等について知り、自分たちに何かできることがないかと思ったから。

## 2 手段

### 取組内容

活動の目標を立てた。

車いす体験の計画をした。

社会福祉協議会に電話した。

社会福祉協議会の長坂さんと難波さんに会って

今後の福祉体験の計画の調整をした。

期間…2022年9月ごろ～現在

活動場所…春日学園義務教育学校

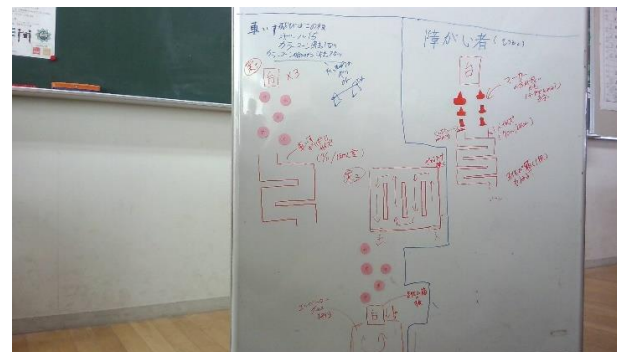
## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

物的コスト…車椅子・盲目セット  
跳び箱・カラーコーン  
人的コスト…社会福祉協議会の難波さん  
長坂さん  
金銭的成本…なし

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

社会福祉協議会の方と福祉体験の細かな計画についての話し合いをした。



### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

学校で行うので、社会福祉協議会などの協力があれば、学校の人だけでは参加できる  
個人的に車いすなどを準備するのは難しい

### その他

特になし

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

社会福祉協議会の方たちとつながり、車椅子、視覚障害者の体験を計画した。

春日学園の8年生を対象に、車椅子体験と視覚障害者体験を開催することになった。その際に、体験のサポーターとして入ることになった。

#### 今後の展望

福祉体験を実施することで、春日学園の生徒に不平等についての理解を深めてもらう。そして、よりSDGsを他人事ではなく身近に感じてもらえるようにする。

## ジェンダー平等を実現しよう

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

##### 〈課題の内容〉

現在私たちはつくば市で使われているトイレマークについて調べています。

一例ではありますが、春日学園では「車いす」のマークが使用されています。

まだまだ範囲は狭いですが、誰もが自由に使えるトイレを実現するためにマークを作りました。

そこで、5番のジェンダー平等を実現しようのもとに、11番、16番のようにみんなが平等に公正に使えるトイレのマークを考えようとなり、

私たちの目標が「誰もが自由に使えるトイレマークをつくる。」になりました。



#### 解決を目指すに至った背景

〈私たちがこの問題の解決を目指すに至った背景〉  
私たちはジェンダーで困っている人はどのようなことで困っているのか考えました。 →トイレマークに着目

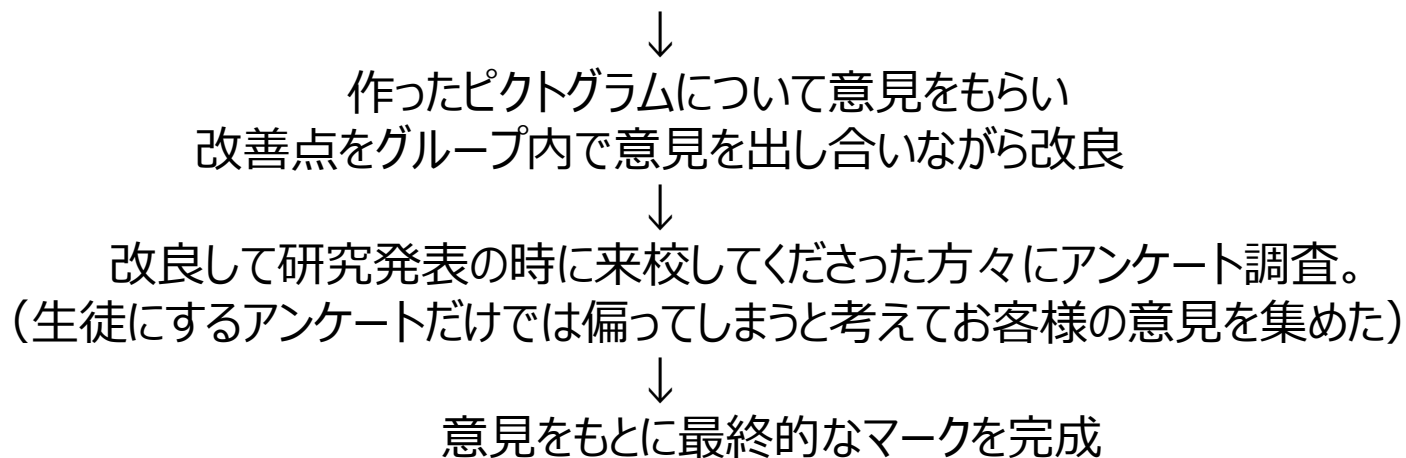
一例：現在の多目的トイレのトイレマークに表示されている車いす、高齢者の方、ベビーシートやベビーチェアなどの赤ちゃんの為の設備、妊婦さん、オストメイトなどがある。

それ以外できっぱり男女に分かれているトイレにいきなり方などそのほかの人は該当しないのか？という疑問がグループ内で案がでた。その問題を解決するために誰もが自由に使えるトイレマークをつくる発想に至った。

## 2 手段

### 取組内容

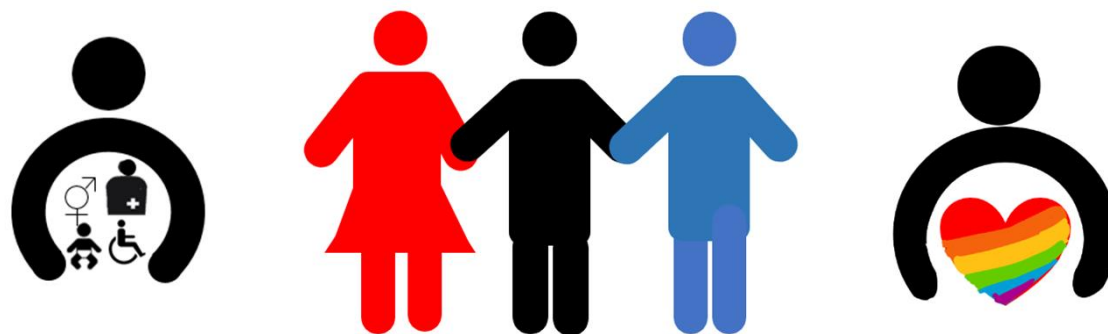
①方法…自分たちで3つのトイレマークデザインを考え、他のグループと協力してピクトグラムを作成。



③対象…春日学園の多目的トイレのマーク

④期間…9月から活動・作成  
12月16日後から実施

⑤場所…春日学園



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

私たちは金銭的・人的・物的なコストに関しては、一切かかっていません。

0 円

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

私たちは春日学園のトイレマークだけではなく、つくば市のすべての多目的トイレのマークを改善したかったので、市役所の教育施設課の中川さんにご協力をお願いしました。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

トイレマークなので、デザインを考えたり、そのデザインを形にしたりなど様々な場面で参加・協力しやすいと思う。

現在あるマーク以外のマークを考える取り組みなので、だれでも参加できます。

### その他

今までのトイレマークは男女でわかれているものがほとんどでした。



男女が分かれることなく使いたい時に自由に使えるトイレマークを私たちは考えたので、そのマークに私たちの思いが込められています。

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

アンケート調査をしてどのようなものが印象に残るか分かった。

ジェンダーの方々だけを対象にしたマークを目指したわけではありません。

私たちが目指しているのは誰もが自由に使えるトイレマークです。

→このマークはたくさんの人々を助けるのではないかと思います。

決定したマーク→



#### 今後の展望

・校長先生にお願いし、学校のトイレマークを変えていただく。



・春日学園で実施して、今までと変化があれば、つくば市に展開し、いろんな意見があるからなかなか言い出せない、そんなつらい思いをしている方々を少しでも助けられる活動を実施したい。



・この市・県・日本・世界で苦しい思いをしている人が少しでも減る、そんな平和で公正で住みやすい街を実現したい。



## 植物についてのWebサイト

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

13番 気候変動に具体的な対策を

15番 陸の豊かさを守ろう



#### 解決を目指すに至った背景

- 一番身近
- 問題視すべき課題  
→地球の未来に関係する
- 自分たちでできる工夫がある

以上の3つの理由から解決を目指しました

## 2 手段

### 取組内容

- ① Webサイトを作成し、たくさんの人に植物の魅力を知ってもらう
- ② EDFメンバー(伊藤颯、遠藤もも、堀内伊吹)
- ③ 小学生～中学生
- ④ できる限り継続して行う予定
- ⑤ 各家庭、施設など

## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

金銭的…0円

人的…アドバイザー、EDFメンバー

物的…PC

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

株式会社designhack

金山様、土生様

- ・ホームページの作り方を教えてもらった
- ・ホームページを作るうえでの色や書体の工夫

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

- ・PCさえあれば同じようにホームページを作れる
- ・個人でも、親子でも一緒にホームページを読み、簡単な植物の豆知識をつけることができる。

### その他

- ・花の画像がたくさんあって見栄えがいい



文字だけではなく画像を入れたほうが植物の魅力が相手に伝わりやすいのではと考えたため。

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

- ◆ たくさんの人に植物の魅力を知ってもらい、植物を増やす活動に取り組んでもらいたい。



- 植物を育ててみる
- 植物について気になったことを自主的に調べる  
など

- ◆ 植物の大切さを知ってもらい、守る取り組みをしてもらいたい。

- 地球温暖化や人の手によって植物が減少している  
→ 植物の大切さを伝え、植物を守ってもらう



#### 今後の展望

- 今後、ホームページに載せているクイズや植物の情報を更新する
- ホームページに載せる植物の種類を増やす
- 対象年齢を分けて、複数のホームページを作ってみる。  
など



※ ↑ 少し進んだところのホームページです

## 地域交流で街を活性化

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

- 地域交流が少ない
- 老若男女問わず交流することが少ない、もしくは0に等しい



地域交流の活性化が街の活性化に繋がる。



- 地域交流をし、**住みよい街**づくりにする！

- 1 1番の住みよい街にする
- 1 2パートナーシップ



地域交流



#### 解決を目指すに至った背景

- 地域交流を**活発化**させる



地域交流の現状についてのアンケートを実施  
→地域交流の有無、必要性について



アンケート結果やネット資料をもとに解決策



今までやってきたこと、現状、解決策をパワポにまとめプレゼンテーションにまとめ**発信**する

## 2 手段

### 取組内容

・地域交流の有無や必要性についてのアンケートを学年のTeamsを通して行った。

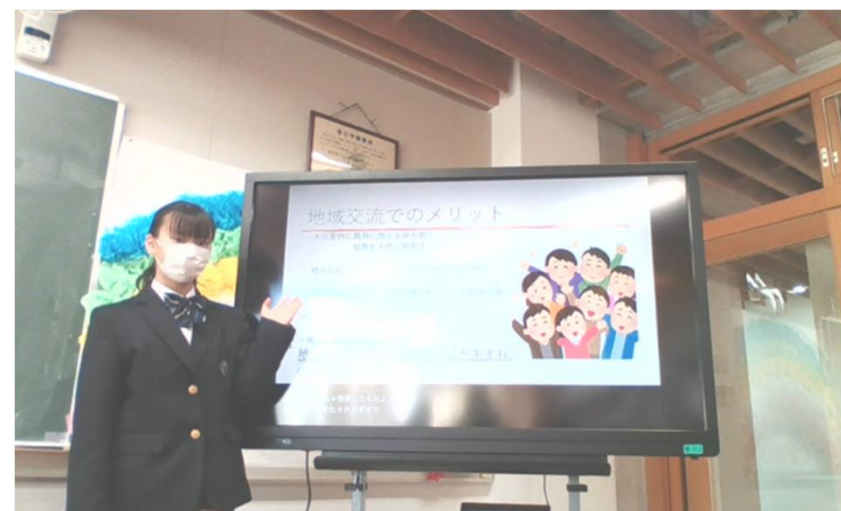
・アンケート結果や資料をもとに現状、解決策。

→地域交流の衰退化、みんなが出来ること、町全体で取り組むべきこと



現状、解決策をパワポにまとめる

・資料やグラフをもとに作ったパワーポイントをプレゼンし、発表したクラスの人に住みよい街づくりにするためにしてほしいことを広めた。



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

自分たちで調べてパワーポイントを作成したのでコストはかからない。

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

アンケートで学年の地域交流に対する意識がわかった。  
地域交流についてのプレゼンを研究発表会の時に来ていた関係者の方々に聞いてもらった。

アドバイスをもとに副校長先生に自分たちのプレゼンテーションを聞いてもらう。

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

誰でも簡単に取り組める

地域交流を活性化



挨拶、地域イベントを行う

### その他

アンケートを実施

パワポの発表

### 3 成果

#### 取組の成果（課題解決の程度）

学年アンケートを実施し、アンケート結果をもとに地域交流についての現状を把握して、解決策を見つけ出すことができた。



見つけ出した現状や解決策をパワーポイントにまとめ研究発表会で発表した。



そこで得たアドバイスをもとに発表の改善を進める

#### 今後の展望

研究発表会でのアドバイスをもとに地域交流の活性化についてのプレゼンテーションを副校長先生に提案する。



## 地産地消を広める

### 1 目的

#### 解決を目指す課題

たくさんの人に地産地消の取り組みを行ってもらう

8 働きがいも  
経済成長も



12 つくる責任  
つかう責任



#### 解決を目指すに至った背景

地産地消を知り、深く調べた結果、地産地消が地域の活性化や、食料自給率の向上につながる事を知ってたくさんの人に取り組んでもらいたいと思いました。

## 2 手段

### 取組内容

班の仲間とともに、たくさんの人に地産地消の取り組みを行ってもらうため、全員で協力して地産地消を推進するwebサイトを制作しています。

サンフレッシュつくばさんに教えていただいた情報などをWebサイトに活かせるようにしていきたいです。

Webサイトは年内完成を目標に制作を進めています。



#### 地産地消について

地産地消とは、国内で生産された農林水産物（食用に供いられているものに限る）をそのその生産された地域内において消費する取り組み。

食料自給率にこ向上に加え直売所や加工の取り組みなどを通じて、六次産業につながるもの。



## 2 手段（取組の特徴）

### コスト（金銭的・人的・物的な必要コスト）

Webサイト制作用のソフト

### 連携の有無（多様な関係者との連携が図られた取組か）

サンプルフレッシュつくば

### 汎用性（他の人も実践しやすい取組か）

海外産の農産物を買わず、  
地域の農産物を買うことなど、実践しやすい取組  
になっている。

### その他

### 3 成果

#### 取組の成果 (課題解決の程度)

現在webサイト制作途中のため、成果を得られていませんが、今後webサイトが完成したら、たくさんの人に地産地消のことを知ってもらい、取り組んでもらうことができると思っています。

#### 今後の展望

Webサイトが完成したら周りの方々にアドバイスをもらい、改良をしていく予定です。